

下関市公立大学法人評価委員会による平成28年度評価結果の業務改善等への反映状況について

平成30年8月

年度計画項目番号	評価結果（指摘事項）	反映状況
<p>項目番号7-1 （大学院入試制度の見直しと広報の強化）</p>	<p>大学院入試制度改正の成果等について検証を行い、入学者の確保について、一層の努力をすること。</p>	<p>平成28年度より入試制度を改正して、出願時に研究指導を希望する教員を選択させる方式としたが、その後も入学者を十分に確保できておらず、期待した成果を上げることができなかった。そこで入試制度についてさらに検討し、二次募集の時期が遅すぎることや二次募集の募集区分が少ないなどの問題が指摘された。そこで、平成29年度中にこれらの問題について検討し、平成31年度入試から、第二次募集に学内選抜を追加することや第二次募集の試験日を早めることにより、学生が受験しやすいように配慮した。</p> <p>また、入学者を確保するため、平成29年度から、新たに学部生を対象に大学院進学説明会を2回実施した。説明会参加者のうち1名が平成30年度に大学院に入学した。</p>
<p>項目番号24-1 （科学研究費助成事業等への申請・採択の向上）</p>	<p>科学研究費助成事業等への申請について、教員への働きかけを促進し、申請者の増加に努めること。</p>	<p>平成29年度から、科学研究費公募要領等説明会で公募についての説明を行った後に、科学研究費採択教員及び審査委員経験のある教員を講師とした科学研究費採択推進研修会を開催している。また、過去の研究計画調書を事務局内で閲覧可能とした。</p>
<p>項目番号29-1 （地域課題への取組）</p>	<p>地方の公立大学である下関市立大学にとって地域貢献は重要である。検討中のものも含め、連携協定について着実に前進させることを期待する。</p>	<p>連携協定締結に向けて、山の田地区まちづくり協議会と話し合いを設けたが、協定締結には至っていない。</p> <p>豊北地区まちづくり協議会と地元の課題解決に向け具体的に協議をし、受託事業を実施した。それに関連してワークショップを2回、地域インターンシップを6回実施した。また、学生の参加を一層促進するため地域インターンシップの実施要領を整備した。</p>